

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	脳出血共同研究ネットワーク（ICON）：脳出血の原因と予後に関する神経画像国際共同研究		
1. 研究の目的と方法	この研究は、脳出血を起こした患者さんの診療情報や頭部 CT・MRI 画像を、国内外の複数の医療機関から集めて調べる研究です。画像にみられる脳の細い血管の変化である脳小血管病が、脳出血の原因や再発、その後の経過とどのように関係しているかを明らかにし、将来的には脳出血の再発を予測する方法の開発を目指します。研究には、通常の診療ですでに得られている年齢、病歴、検査結果、治療内容、CT・MRI 画像、その後の経過などの情報を使用します。これらの情報は、氏名や住所など個人を直接特定できる内容を取り除いたうえで、グラーツ医科大学に集めて標準化されたデータベースを構築し、国際共同研究を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2031 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2012 年 10 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで東京慈恵会医科大学附属病院脳神経内科に入院し、脳出血に対する治療または検査を受けた方のうち、先行研究（承認番号 38-107[13346]）に参加された方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、再発の有無	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。過去の先行研究（脳小血管病を背景とした脳出血の再発および予後の検討：多機関観察研究[Recurrence and Prognosis of Intracerebral Hemorrhage Associated With Cerebral Small Vessel Disease: A Multicenter Observational Study : RePro-ICH-SVD Study]）で取得されたデータも二次利用します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座 脳神経内科
		氏名	奥村元博
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	

	(4) 共同で研究を実施する施設とその責任者	＜研究代表機関＞ グラーツ医科大学 代表者：サイモン・ファンドラー＝ヘフラー（Simon Fandler-Höfler） ＜共同研究機関＞ アーケシュフース大学病院 代表者：エスペン・サクスハウグ・クリストファーセン（Espen Saxhaug Kristoffersen） 国立病院機構鹿児島医療センター 代表者：佐藤健朗（Takeo Sato） 国立台湾大学病院 代表者：シンジョー・イエ（Shin-Joe Yeh） 安徽医科大学第二附属病院 代表者：チー・リー（Qi Li） シャリテ・ベルリン医科大学 代表者：クリスティアン・ノルテ（Christian Nolte） 関西医科大学 代表者：薬師寺祐介（Yusuke Yakushiji） シンガポール国立大学病院 代表者：マーヴィン・リム（Mervyn Lim） ハイデルベルク大学病院 代表者：ヤン・プルッカー（Jan Purucker） RWTH アーヘン大学病院 代表者：ジョアン・ピーニョ（João Pinho） 日本医科大学付属病院 代表者：坂本悠記（Yuki Sakamoto） 国立循環器病研究センター 代表者：三輪佳織（Kaori Miwa） モナシュ・ヘルス 代表者：ジョン・リー（John Ly） エアランゲン大学病院 代表者：ヨッヘン・ゼンビル（Jochen Sembill） サンタ・クレウ・イ・サン・パウ病院 代表者：ルイス・プラッツ（Luis Prats） ノッティンガム大学 代表者：ロブ・ディニー（Rob Dineen） ラドバウド大学医療センター 代表者：カリン・クライ（Karin Klijn） ミーニョ大学およびブラガ地域医療機構/ブラガ病院（ポルトガル） 代表者：チアゴ・ジル・オリヴェイラ（Tiago Gil Oliveira） ソウル大学校盆唐病院 代表者：ヒジュン・ペ（Hee-Joon Bae） 香港大学 代表者：ケイ・チョン・テオ（Kay Cheong Teo） オットー・フォン・ゲーリケ大学マクデブルク大学病院 代表者：ステファニー・シュライバー（Stefanie Schreiber） パルマ大学 代表者：アレッサンドロ・ペッツィーニ（Alessandro Pezzini） バーゼル大学 代表者：ニルス・ペーターズ（Nils Peters） リール大学 代表者：シャーロット・コルドニエ（Charlotte Cordonnier） メイヨー・クリニク
--	-------------------------------	---

	代表者：ジェニファー・フューゲート (Jennifer Fugate) 四川大学華西病院 代表者：マンマン・シュー (Mangmang Xu) マサチューセッツ総合病院 代表者：スティーブン・M・グリーンバーグ (Steven M. Greenberg) ナレスワン大学 代表者：ドゥアンナパ・ルンピブーンソピット (Duangnapa Roongpiboonsopit) ベルン大学病院 (インゼルシュピタル) 代表者：デイビッド・ザイフゲ (David Seiffge) トーマス・ジェファークソン大学病院 代表者：パスカール・ジャブール (Pascal Jabbour) ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン病院 NHS 財団トラスト 代表者：デイビッド・ウェリング (David Werring)
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究で収集・取得された情報は、患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報情報を削除し、新たに研究用の ID や番号をつけてから、5(4)に記載された研究代表機関のもとに、以下の方法で集められます。 提供方法：パスワードを掛けた電子ファイルをメール送付 試料・情報の利用または提供予定開始日：2026 年 11 月末頃～ 提供を受けた情報は、特定の個人を識別できないように加工された後、外国にある以下の機関（研究代表機関）に対して提供します。提供された情報は、グラーツ医科大学（オーストリア）の個人情報保護に関する制度等に従い管理・保管されます。詳細は下記のとおりです。 ① 機関名称：グラーツ医科大学（所在国：オーストリア） ② 個人情報保護委員会の以下のホームページ上で公表されている「個人情報保護法ガイドライン（外国にある第三者への提供編）」の「3. 個人の権利利益を保護する上で我が国と同等の水準にあると認められる個人情報の保護に関する制度を有している外国」を参照してください。 https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/guidelines_offshore/#page_top ③ 上記①の機関が講ずる個人情報の保護のための措置に関する情報： 日本と同等の水準の個人情報保護にかかわる制度を有しており、これは日本の個人情報保護法ガイドライン（外国にある第三者への提供編）や人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針において確認することができます。そのため、個人情報の保護については日本と同等の保護が期待できます。
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 内科学講座 脳神経内科 研究責任者：助教 奥村元博（オクムラ モトヒロ） 電話番号：03-3433-1111（内線 9220） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。